2011年2月15日

ベトナム洋上ランドン油田におけるCO_2EORパイロットテストの実施について

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
JX日鉱日石開発株式会社

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC、理事長：河野 博文）、ベトナム国営石油（Vietnam Oil and Gas Group：PETROVIETNAM、President and CEO： Phung Dinh Thuc）と日本ベトナム石油株式会社（Japan Vietnam Petroleum Co. Ltd. ： JVPC、社長：古関 信）は、JVPCがベトナム沖で操業する15-2鉱区のランドン油田を対象とするCO_2EORパイロットテストを実施することで本日合意いたしました。

CO_2EOR（EOR：Enhanced Oil Recovery）は原油回収率向上技術の一つでCO_2を油層に圧入し油の増進回収を図るものです。産業排出のCO_2を用いたCO_2EORが油田全体に適用されれば、CO_2地下貯留により地球温暖化防止にも貢献できます。

2007年以来、PETROVIETNAM、JX日鉱日石開発株式会社（社長：古関 信）、JOGMECは室内実験、油層シミュレーションを駆使し、また、圧入するCO_2源調査を含めた事業化研究を進めてきました。その結果、油田の生産量を相当量増加させると同時に、CO_2も削減可能であることが判った為、本年6月より、実用化への第二段階である、パイロットテストを実施いたします。パイロットテストは、一坑井にCO_2を圧入し、同じ坑井から原油を生産する小規模テストで、油田全体への適用前にその増油効果を確認するものです。テストはオペレーターであるJVPCが実施し、PETROVIETNAMおよび15－2鉱区パートナーが協力、JOGMECは支援を行います。

JOGMECは、1970年代よりEORに係わる技術開発を続け、特にアブダビ、クウェート、メキシコ、トルコ、ベトナムにおいてはCO2EORに重点を置いてきました。

本パイロットテストは、ベトナムのみならず、東南アジア地域で初の洋上でのCO_2EOR適用事例となります。

※ JVPCは、JX日鉱日石開発株式会社が97.1%出資する子会社です。
ConocoPhillips (U.K.) Gama LimitedおよびPetrovietnam Exploration Production Corporationのパートナーとともに、オペレーターとして15－2鉱区において油ガスを生産しています。

■問合せ先
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
問合せ先：R&D推進部 高木 TEL：043-276-9264
広報担当：総務部 植松 TEL：044-520-8732

JX日鉱日石開発(株)
問合せ先：総務部総務グループ TEL：03-6275-5241